

コンバットキャンプ場に到着すると組長と地下鉄さんがタープの下でまつたりくつろいでおられました。今年は組員の皆さんのが集合は遅めで夕方にかけ少しずつ集合しました。初日の参加者は、組長（アクティ）、地下鉄さん（ジムニー）、ゴ三浦さん（パジエロミニ）、北脇さん（サンバーIS-C）、オガタさん（アクティ）、村松岡さん（アクティトラック）、アミーゴさん（BMW R1200GS）、私（ジムニー）でした。う～む、見事に軽自動車の黄ナンバーのオンパレードの中、たつた一人バイク（しかも外車！）で来たアミーゴさん。私、BMWなど興味はあるど縁はないのです。アミーゴさんに「これいいからぐらいするんですの？」と聞いたら

武川裏会の一日目のレポートを担当します蹴とばしセロー河合です。組員の中でも若手の部類であろう私も不惑（40才）の歳になります。40代ともなると体の様子も変わってくるみたいで、私の場合（こんなところで公表するもんでもないのですが）「痛風」という厄介な病気を持つてたりします。今年は4月末頃より、左足首に嫌うな鈍痛があり悲痛な思いで、今更ながら飲酒や食事を節制し3日の朝を迎えたのであります。

3日の朝、少しばかり不安を感じつつも車検を取つたばかりのジムニーで中央道をひた走ります。長坂ICを降りてすぐのオギノにて野菜中心の食材買出し、すぐ隣の酒屋になるべくプリン体の少なそうな薄めのビール風飲料を購入。

「なんで小武川まで来て精進メニューいやねん！」

と憤りを感じつつ、舗装工事がジワリと進む小武川林道を駆け上がりま

GW 小武川組会報告

(株式会社小武川組) (回)

(第廿四回)

寺崎通門

— 1 —

「おおう意外と正常値じゃん」とか
「だつて薬飲んでるもん」とかどう
にも会話が若くない。それからアミ
ーゴさんの23年度9月の喬木村組
会2日目の失踪疑惑の釈明会見も開
かれました。何やら2日目の組会へ
の参加の為の移動中の林道でヒルク
ライムの最中に崖落ちして何ともな
らなくなり、その場で緊急ビーガー。
翌日、歩いて下山しホームセンター
でスリングやら道具を買い込んで救
出を試みるもうまくいかず、結局バ
イクを放置して家に戻りハイエース
で再度救出に向かつたとの事。うう
む、海外青年協力隊なんぞに行くよ
うな人はちょっと違いますな、とて
も真似は出来ません(へしくない)。ヘ
ッドランプ一個で夜を過ごす工

ー中古たじこんなの片手以て貰えますよ。」
との事。うむむ、片手以下って言つても5万円以下じゃねえよなあと妙な格差を認識(笑)。しかし同じ40代組員としてバイクな頼もしい方です。北脇さんのサンバICSは初お目見え、過給機付きの5速にこだわられるあたりさすがです。村松岡さんのアクティトラックはツーリンドフォーの社用車だそうです。日が暮れる頃には初日メンバー全員集合。顔ぶれはいつもの方々、もはや自己紹介コ一ナ一は必要無くなつてしまつた感が・・・。例年、小武川はサバーイ電気さんやミシユラ、武川のおねいさんやひらりん大佐のご家族など見えて、ちょっと雰囲気が違うのですが、今年はバイクの組会みたいで。宴会の話題は組員の不健康新聞大会で、内容が笑えるような笑えないような(笑)。組長はタバコを禁煙され、明るい内は飲酒しないようになつて、それで、血圧もきちんとチェックされて、いるそうです。組長所有の血圧計で全員の血

コな宴会も11時頃、酔いもたけな
わで全員就寝。時折テントを叩く雨
音が心地良く眠りにつきました。

翌朝はすっかり天気も回復し、朝
食など食べればやる事のない暇人組
員はそれぞれ各々小武川の休日を楽
しみます。組長が新型組長専用機の

発行所 寺崎組新聞社



丁一六五四四四

鬼の犬連れ編集人よりの原稿督促にあつて、いざパソコンに向かえど猫のゴロニヤン攻撃に頓挫を余儀なくされたり、突然ジムニーいじりの名案を思い付いたり、泡の涼しげなる誘惑に冷蔵庫へ走ること三度ばかりなり。寄る年波からの体力低下のみならず精神力の欠如は小学生のガキ並に退化進行の現状であります。

終わりましたが、今年は本格的にやりやしよう。8月11～16日の予定です。某氏よりのご要望にお応えし、虫除けの蚊帳を新調いたしました。飲んではかりも芸がないので今年はお勉強に励みませう。割り算の九九をやる予定。あく『ニイチテンサクノゴ』『シツチンノインジユ』しごきます。

シロは花を付けず、例年小武川の五月を飾る藤の紫を見る事もありました。まもなく世界は終末を迎え、ゴキブリとミジンコの世代が始まるとやも知れません。それまでは野宿宴会が一番だに！

すでに総入れ歯との噂が……あわわわ。ワタクシ血糖とコレステロールの値が高く、医者からはアレハ飲むなコレハ食うな、飲むのはこれだと銃剣二銃。トマトジュースがぶ飲みの毎日が続く六月の梅雨空なのです。

健康志向へ鞍替えの組長が持参の血压計にての血压オリンピックが急遽開催され、150-80の小武川銀は144-90の組長。実は200オーバーの記録保持者マツコリ屋形氏は血压降下剤服用のドーピング疑惑が発生し、血压オリンピック協会により永久追放とあいなつた次第であります。宴会にての酒も昔ほど量が進まず、泥酔に至る前に寝込んでしまう不甲斐なさ。ああ、かつては宇宙へゆけたのに。ふらいみーつーざむーん！福島の灰は四十日で世界を回り、小生の天頂は疎林化も進行の一途。雨の感知がコンマ三秒早くなったと喜んでおる場合ではなさい。組長のおやじ殿もこれでやられたらし、今年鈴鹿の山にシロヤ

ク、あれ、それ、だれ、かれ、で済ますこと日に数回。組会で聞いた話も食つた物も、もう半分程はあちらの世界へ飛んじやつてゐる始末。ボケ頭を絞つて思い出せたせたのが、スーパー・テレネはいつ拝ませてくれるんだい？の三瓶さんは最後までお付き合いくれました。ケツの皮の厚さと感覚の無さが長野県一番だと自慢するTLR上田のチノさん。迷彩カラーリXTはドクター椎名、帰還は押しがけにてのスタートとあいなりました。押し代はムシ歯治療一本分の貸しにてよろしく。まあ小生歯は丈夫な方だが、組長はすでにボロボロだし、某カメリマンにいたつては

小武川組会一人一言



空冷ハスラー50

癸卯年夏
丁巳月
庚午日

●ふ・ふ・ふ・・・、怪しい司会ではなく歯科医です。（あれ？初参加の時の一言と出だしが同じだ？？）右ステップは、キツクの際には外すことにします！（歯科医・椎名）

スズキ エンジン



空冷2本サスのほぼ最終型)のヤ
オクパーイツ相場はほぼ底値で500
円だとか1000円で綺麗な中古バ
イツが手に入る。ヤフオクでハンブ
ル、バツテリーケース、新品アクア
ルワイヤー、ついでに状態の良いカ
ヤブレタ一も落札して取り付け
た。

ダメージは転倒でひん曲げたハンドルと折れたウインカーくらいでレトアなんて次元で無く復活できるだろう。何年も始動しないとの事が、キヤブレタのOHで一発始動。早速ヤフオクで部品を漁る。

ら、いつの間にか私の物になつてしましました！。名古屋の高級住宅街のガレージの中でボルシェと一緒だそうだが、これからは土岐市に田舎のガレージの中でタイタン（＝ダンプ）と一緒になるのだ（笑）」
まずざつと車体を見ると埃が凄いが、車内保管でけらつて、清潔な車だ。

人がハスラー50を処分したいとか?」といふので引き取りに付き合いました。当初はあまり興味が無かったのですが、現車を見ると空冷の本サスだし、何よりカラーリーのイエローだったのが、さすがにかっこいいと即決で購入しました。

奥の超細道くん by 桂川



こんな所で
、二一渋滞に
まぐれ



京都府八幡市奥ノ町
(審在する地名です)

道が細いんだから、
並行する旧京阪国道を
走れよ!」

奥の超細道



サードから仕方ないとは思いつつ
林道だけならまだしも一般舗装路
の実用スピードに達しない。もち
んこのままじゃ高速道路走は辛過ぎ
る。ちなみに買った時の「スプロッ
ト」はフロント14丁、リアは5
丁。純正部品を検索すると、フロ
ントは最大、リアの最小は48丁。
つそく48丁を発注。それでアウ
ライダーの口ケを走つたのだが、
アのつながりはスムーズになつた
の（→52丁の時は約50m走つた
だけでトップギア）。エンジン音が
慢できるトップスピードが
75k



地獄の言葉
お船から君をきつくるのはやめて
お腹がからむにたまゆる。お食事にて
お腹がからむ洗濯もはいにたまゆる。
お腹がからむごとてタバコ吸わなま
お腹がからむおしゃれでキオクがなま
お腹がからむの前でひとのぬかせ
私も似たよな経験を電車で

それはヤマハWR250F。04年モデルだ（セル・キック併用）でアルミフレームになる前の鉄フレームモデル。シートレールはアルミニウム。逆輸入車のエンデューロモodelです。

さてその購入の経緯を御説明申し上げましよう。皆様御存知のように、これまでの愛車はKTM LC4-E。そのパワー感に惚れ惚れしたものの、散々軽量化に努力したにもか

組長の新車（中古でね はと）自撮

続いた今年2月、数あるの中から最安値の物を発見、年式は古いが私にとっては新車同然、走行3000km。私にとって幸いだったのはローランが可能なこと(つまり販売先は業者)、店が比較的近い埼玉だつたこと。この年式でこの値段でこの走行距離、私の目利きが悪いのか寒くてバイクの興味など薄れているのか、いつまでたつても入札する人は皆無。ある寒い日の夜、当然酔っ払つ

かわらす車体の重さがネックに一度の車検もネック。バイクの切符制度にも疑問を感じつづあります。そこで、寄る年波で経済状況を考え合わせると、250ccのバイクがやっぱり良いなあと思うようになりました。雑誌なんかの仕事や試乗会でヤマハWR250RやらKTM EXC250I-Fなんかに乗せてもらうと、このパワー感なら車検のあるバイクでなくともいいじゃん、と思つてしまつたのでござります。

そこでネットオークションでこれ探し始めました。しかし、EYECもWR250Rも高くて手が出せん。ならばと古いスズキDR200（油冷DOHCの初期型でジエベルじやないやつ）やヤマハTT250R（レイドではない）にも手を広げて探すが、タマ数が少ない上に、あつたとしても見た目がボロい割に高い。そこで、ダラダラと250cc以下の中古オフロードバイクを検索する日々が続いたのでござります。三重県度会郡のオツサンが乗つてあるホンダCRF250でもいいからあると検索をかけると、やつぱりタマ不足で高価。そこでWR250Fが何故か引っかかり、見てゆくうちに発売は1998年ぐらいで（初期の物はキックのみ）タマ数もありません。それなりにこなれている。それば私の頭は寝ても覚めてもWR250Fのことばかり。寒い日が

キ一は無い。メーターはアナログだがトリップが無く、中国バイクに付いていそうな安物。ペラペラで後ろがちゃんと見えないミラー。社外品のリアエンダーはヘナヘナで腰がない。そのフエンダーに貼り付いているタニシミみたいなワインカーも気に入らない。リアスプロケットもやけにデカい。タイヤはノーマルらしいが山が高過ぎる競技用。けばけばしく貼つてあるステッカーも気に入

車両の導入が何故か入札者は私一人、落札おらずでどうございますのメール。それから車整備料が、販売証明書が、登録手数料がどうのこうのと、いろいろ見積りを見てびっくり、落札した値段+10万円ぐらいになつちやうじやない。そこで納車整備も無し何にも無し(販売証明書代4200円は払わない)で、なぜならなかつたけど、ちょっと高くない?」で店まで引き取りに行くと、18回の均等払い口一引契約成立。契約は成立したもの、「車両輸送などで1週間から10日ほどお待ちください」とのことで、1週間過ぎても音沙汰無く、電話すれば「まだ納車契約と納車整備が」とたわけた事をぬかす折り返し上司らしき人から電話があり、「契約の確認が取れたので明日には納車を!」。電話するまで納車する気は無かつたつてことか? というわけでボロ軽トラに積まれて、我が家にやつてきたWR250F。ヨーロッパの部品らしい物で変な公道化の改造がされていった。ベスパの部品みたいな上目と下目の切り替えが効かないガラスのヘッドライントレンズ。フロントのマスターシリンドリに付いているブレーキスイッチは、何と後付け感バリバリの油圧式。後付け感バリバリの油圧式。

04 YAMAHA WR250F



まずは手軽な所から。スイングアームとフロントフォークカバーに付いているYAMAHAの大ステッカーをがし、ラジエター・シェラウドに付いた音叉マークステッカーもひびがした。ライトレンズはEXCのプラスチックレンズに交換。フロントブレーキスイッチは、レバーハンドルダートに穴を開け、クラッチ側の「ラッパ」レバー握つてからセルモード回さないとダメよ「スイッチを植。メーターは、誰かのDR350をいじった時に出てきたスズキ製交換。トリップは付いているしガスレンズだしデザインもシンプル気に入っている。前後ウインカーリアフェンダーは補強板を入れて重量化。タイヤもビレリMT2に交換。まずはそんな感じでナンバープレート登録して試走。エンデュ

購入（軽いけれど純正の倍近いお段）。これで試走。エンジン音が慢で、途中のバイク部品屋で45丁以上、これなら高速道路が走る。そして燃費も26km/Lに上、これくらいなら許容範囲です。スプロケットを交換すると同時に、エンジンを短く切りつめ、エンレスチェーンをコマ付きにする。してタンク容量は10Lなので、まあアギリギリ許せるかも知れない。またもネット検索、四国の中でも、レーシングが輸入しているアメリカ製タンクが3ガロン（約11.8L）で約4万円。それ以上の容量を持タンクも他メーカーであつたが高過ぎて却下。○レーシングではアメリカ製の軽量マフラーも取り扱つてた。お金も無いからと躊躇していた。郵便局の代引きを利用すれば料が、無料手数料無料、個人購入者割りもグラツと心が傾き約5万円するマフラーも購入。

マフラーはスンナリ付いたが、シエラウドのビスの位が微妙にずれているではないか。明書（アメリカ語）を読めば、このシエラウドはモトクロッサーのシエラウドを付けよと書いてある。またお金が7000円ほど飛んでしまった。そしてまた試乗。LJCのトルクは望むべくもないが、軽ほどのトルクは望むべくもないが、しかし早いし低速も意外に粘る。ただ、尻が痛い。前オーナーは背が低いのが、かっこいいのか、シートがアンコ抜けており、尻の角や太ももがシートの角に当たつて痛いのだ。シートを入れ、表の尖ったスponジ部分をサンダーで削る。といつたと

北海道の、耐えるしばれる
2012 Ver

にた^く。 北海道の、耐えるしぶれる 2012Ver